

オーストリアでは、多彩な里親支援や、専門的トレーニングを受けた里親を活用した危機介入型里親一時保護システムなどが展開されています。これらの取り組みは、社会的養護のあり方や、里親支援のあり方を模索しているわが国のすべての関係者に示唆を与えてくれるものと考え、本フォーラムを企画しました。

このフォーラムは、SOS子どもの村で育ったユースの声に耳を傾けることから始まります。そして、これから必要な里親支援システムについて、参加者の皆さんとともに考えていきます。もちろん、東日本大震災の被災者のこころのケアにも焦点をあてながら…。招聘者の講演は英語ですが、全て通訳付きです。

# これからの

# 社会的養護

— SOS子どもの村オーストリアの里親支援の実践に学ぶ —



ミニトーク

## 「SOS 家族と私」

パネリスト Mr. Martin Zernig  
SOS子どもの村ムースブルグユース  
・当業者



講演 I

## 「オーストリアにおける 里親養育の推進」

Dr. Christian Posch  
SOS子どもの村 インターナショナルプログラム  
開発ディレクター



講演 II

## 「里親支援システムの多様性 ～こころのケアに焦点を当てながら～」

Mag. Anton Magometschnigg  
危機介入支援センター「パーバスク」ディレクター、  
SOS子どもの村ムースブルグ

日時：

2015年11月7日(土) 13:00～16:30

会場：子どもの村東北センターハウス 社のホール（仙台市太白区茂庭台2丁目16-19-1）

定員：50名 対象：里親、乳児院・児童養護施設等職員、社会的養護に関心をもつ実践者、専門家 参加費：無料  
研究者、学生、行政関係者と一般市民の方々など

**Bank of America  
Merrill Lynch**



バンクオブアメリカ・メリルリンチは、家族と暮せない子どもたちや、その危機にある子どもと家族への支援として、SOS子どもの村JAPANが行う家族強化プログラムの立ち上げを応援しています。



# これからの社会的養護

SOS子どもの村オーストリアの里親支援の実践に学ぶ

◎プログラム

[ 総合司会：子どもの村東北 理事 山崎 剛 ]

13:00～13:05 開会のあいさつ 子どもの村東北 理事長 飯沼一宇

13:05～13:35 **ミニトーク** 「SOS家族と私」  
Mr. Martin Zernig (SOS子どもの村ムースブルグ ユース・当事者)

13:35～14:15 **講演 I** 「オーストリアにおける里親養育の推進」  
講 師： Dr. Christian Posch (SOS子どもの村 インターナショナルプログラム開発ディレクター)

14:15～14:30 休 憩

14:30～16:00 **講演 II** 「里親支援システムの多様性 ～こころのケアに焦点を当てながら～」  
講 師： Mag. Anton Magometschnigg (危機介入支援センター「バーバクス」ディレクター、  
SOS子どもの村ムースブルグ)

16:00～16:30 質疑応答

16:30 閉会のあいさつ 子どもの村東北 常務理事 岩城利充

日 時：2015年11月7日(土) 13:00～16:30

会 場：こどもの村東北センターハウス 杜のホール

〒982-0252 仙台市太白区茂庭台2丁目16-19-1

ACCESS

- 仙台市営バス 仙台駅前西口バスプール 10番 茂庭行き又は茂庭台行き  
茂庭台一丁目下車 徒歩3分
- 宮城交通バス 長町駅東口バス停より茂庭台一丁目下車 徒歩3分



< 第1回東北フォーラム 参加申込 >

お申込みは、以下の内容を FAX **022-748-6931**、またはメール ☒ [info@cvtohoku.org](mailto:info@cvtohoku.org) に送信してください。

※ 参加申込後、メールまたはFAXにて受領確認書をお送りいたしますので、当日の参加証としてご持参ください。

ふりがな			
お名前		所属	
連絡先	TEL / FAX	E-mail	